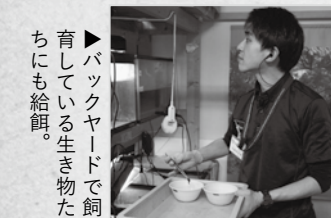


🕒 10:00
餌の準備

■生き物の大きさや状態に合わせて栄養バランスを調整するほか、冷凍によって失われるビタミン類を補うため、薬剤やサプリメントを配合すること。



◀洗濯や洗い物など衛生管理も欠かせません。



◀サーモンゾーンの給餌は水槽上部から一気に。

🕒 11:00
イベント対応

■平日限定の《コイのエサやり体験》の受付や安全管理などを行います。背が届かない小さなお子さんには専用の台を用意するなど、安全対策は万全に。また、体験中以外のお客さまの質問にも丁寧にお応えし、心地よいコミュニケーションと《笑顔》をお届けします。



次のページにつづくモン！

調餌した一部をご紹介します！

アメリカミンクのごはん



・ホッケのぶつ切り

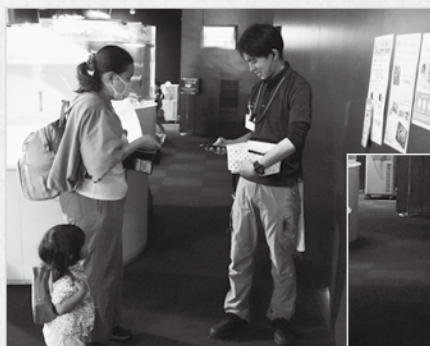
カイツブリのごはん

・サケの切り身

・オキアミ

・乾燥エビ

・ジャイアントミルワーム



POINT

安全管理と笑顔の創出

危険を防ぐだけではなく、《どんな反応をしているか》《楽しんでくれているか》までしっかりと観察。一人ひとりの笑顔を引き出し、安全に楽しんでもらうための細やかな気配りが必要不可欠です。

🕒 11:30
事務作業



■メールチェックや電話・問い合わせ対応のほか、企画展に向けた他館との調整業務などを行います。現場作業だけではなく、デスクワークも大切な飼育スタッフの仕事。企画展で展示する生き物の手配や各水族館の詳細なども入念に確認します。

🕒 8:00
開館準備



POINT

常にお客様目線

特に注意して確認するのが《水槽のガラスの汚れ》です。お客さまはガラス越しに生き物たちを見るため、ガラスが汚れては美しい姿をお見せできません。子どもの目線など、さまざまな角度からの確認を徹底しています。



水族館の裏側を紹介するモン！

■館内の見回りから一日がスタート。生き物の状態確認や前日の忘れ物点検、電気類の準備など、開館に向けた準備を手際よく完了させます。



▲水中観察ゾーンから見えている魚を毎日欠かさず記録します。

🕒 8:45
朝礼

🕒 9:00
清掃など

■水槽の清掃や、餌の準備（計量・解凍）を進めます。



▲残餌量も細かく記録。

◀決められた量を正確に計量。

POINT 細心の注意を

特に注意が必要なのはアメリカミンクの水槽清掃。噛まれてしまうと傷口から雑菌が入り、病気にもつながる恐れがあります。《絶対に怪我をしない・させない》ことを最優先に清掃を行います。



TICKET

一般 800 円
高校生 500 円
小中学生 300 円
(乳幼児は入館無料)

夏季営業時間
9:00
17:00

詳細は HP から



花園2丁目312番地／サーモンパーク内
☎(42)3001 FAX(42)2310

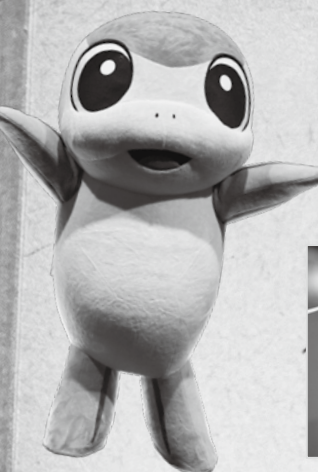
寺嶋 伊武樹 さん

サケのふるさと 千歳水族館
展示教育係 学芸員
滋賀県出身／千歳在住3年目
趣味は城跡巡り



サケのふるさと千歳水族館
飼育スタッフの一日密着

千歳を代表する人気スポット《サケのふるさと千歳水族館》。みんなに愛される展示の裏側で、命を預かり、お客様の笑顔を支える飼育スタッフの一日に迫ります。



ここ(支笏湖ゾーン)の奥の映像は、
館長が潜水して撮った本物の
支笏湖の湖底なんだモン！

▼通常業務のほか、引き続
き企画展準備も進めます。



▲用意していた餌を各水
槽へ与えていきます。見に
来てくれたお客さまへ丁寧な解説も欠かせません。

17:00

閉館作業



▲自らホースで水槽内の水を吸い
上げ、サイフォンの原理(高低差
と重力)を利用して排水。慣れない
頃は思わず水槽の水が口に入った
という裏話も。



▲水温を保つた
め専用ヒーター
を使用します。

15:30

給餌・企画展準備など



POINT

人と生き物と対話

生き物たちの餌への食いつきや動き方から《健康状
態》を確かめる貴重な時間。また、給餌はお客さまと
の大切なコミュニケーションの時間でもあります。

生き物たちの移動方法は？



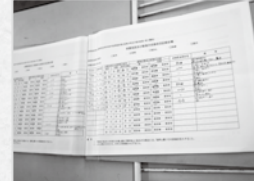
■生き物たちの移動はな
んと「空路」！運ばれてく
る生き物たちの安全を一
番に考え、水質管理など、
細心の注意を払います。

13:30

館内巡回、業務整理



■午後館内の見回りから
始まります。生き物の状態
の変化や水槽の汚れなど、細
かな違和感も見逃さないよう
注意深く確認。そのほか、午
前中に対応できなかった業務
や飼育作業を一つひとつ
確実に進めます。



▲カメレオンやヘビなどの帳簿
を作成。日々の清掃・飼育状況な
ど細かく記録します。

13:00

ミーティング

■館長、ボランティアスタッフ、展示教育係のメンバーで
情報を共有します。その日の状況に合わせて午後からの
業務内容やスケジュールなどを細かく調整。館内外の出来
事など全員で連携・共有し、安全でスムーズな館内運
営につなげています。

14:00

企画展準備



■夏季企画展に向け、他館から無事に到着した生き物たちを笑顔でお
出迎え！各水族館の看板を背負う生き物たちを責任を持ってお預かり
し、展示に向けた準備を進めます。



◀水槽に入れる前の《水合わせ(温
度や水質の調整)》は、生き物へのス
トレスを最小限に抑えるための非
常に重要な作業です。



▶サンゴ砂を敷くなど、それぞれの
生き物が過ごしやすいうような細部
まで工夫して仕上げます。

まだまだ開催中！
みんな遊びに来てほしいモン！



《千歳市空港開港 100 年》という節目に合わせ、「空港と水族館のコラ
ボレーション」を企画。千歳(新千歳空港)から直行便が就航してい
る地域の水族館様にご協力いただき、普段当館では見られない珍しい
生き物たちを展示しています。

寺嶋さんに話を聞きました

INTERVIEW



水槽の先には人がいる
常に思いやりの気持ちを

—— 飼育員を目指したきっかけと、この仕事の魅力は。

幼い頃から「琵琶湖博物館」へよく通っていたこともあり、ずっと水族館で働く
ことに憧れがありました。小学生の時の自由研究では「ピマヨシノボリ」という淡
水魚について調べていたほどです。

この仕事の魅力は、大切に飼育している生き物をお客さまに見てもらい、その素
晴らしさを直接伝えられることだと思います。そのためには生き物への好奇心はも
ちろん、《人のことも同じくらい好きになれること》が大切だと感じています。生
き物の先には、常に楽しみにしてくださるお客さま(人)がいます。人のことを思
いやることができなければ、この仕事は務まらないと思っています。

—— 日々の業務で特に気を付けていることや大切にしていることは。

まずは自分自身が怪我をしないこと。そして生き物の状態を細かく観察し、異変
がないか日々チェックすることです。もうひとつ、私が特にこだわっているのが《水
槽のガラス清掃》です。お客さまは入館料を払って来てくださいます。ガラスが汚
れた状態のままお見せすることは、非常に失礼にあたりますから、常に美しく保つ
よう徹底しています。

—— 仕事をする上で、一番大切にしている「信念」を教えてください。

《人との交流を絶やさないこと》です。水族館はお客さまに足を運んでいただい
て初めて成り立ちます。生き物を大切に育てることは大前提ですが、その本質は「常
に思いやりの気持ちを持つこと」にあると思っています。まだまだ勉強中ですが、
お客さまにも生き物たちにも愛される飼育員になれるよう精進してまいります。